

# 2026年1月期 第2四半期(中間期)決算説明資料

(第16期 2025年2月1日～2025年7月31日)



2025年9月12日

丸善CHIホールディングス株式会社

3159 <https://www.maruzen-chi.co.jp/>



# 目次

---

I	2026年1月期 第2四半期(中間期)決算の概要	2
II	中期経営計画の進捗状況	12
	Appendix	20

# I 2026年1月期 第2四半期(中間期)決算の概要

※表示方法の変更にもなう売上高等の実績値の表示について

当第2四半期(中間期)決算より、自社保有不動産のテナントに対する賃貸取引について、これまで「営業外収益」に計上しておりました「不動産賃貸料」、および「営業外費用」に計上しておりました「不動産賃貸費用」を、「売上高」および「売上原価」に計上する方法に変更しました。このため前期の実績値についても組み替えの上、表示しております。



## I -1. 当第2四半期(中間期)サマリー 累計業績(連結) 前年同期比

- 当第2四半期は、店舗・ネット販売事業における万博効果(2025大阪・関西万博 オフィシャルストアの運営)により収益を大きく押し上げ、増収増益となりました。
- 文教市場販売事業では、教育・研究施設、図書館などの設計・施工案件の増加が、大学等の教科書販売の減少を補い、公共図書館向け販売も堅調に推移したことから増収増益となりました。
- 図書館サポート事業は、受託館数は堅調に推移した一方、人件費の上昇や販売管理費の増により増収減益となり、出版事業は業績改善の進捗が遅れました。
- これらの結果、売上においては対前期比108.8%の**92,517百万円**。営業利益については、対前期比135.1%の**2,840百万円**となりました。

## ◆当第2四半期累計 前年比較

(単位:百万円)

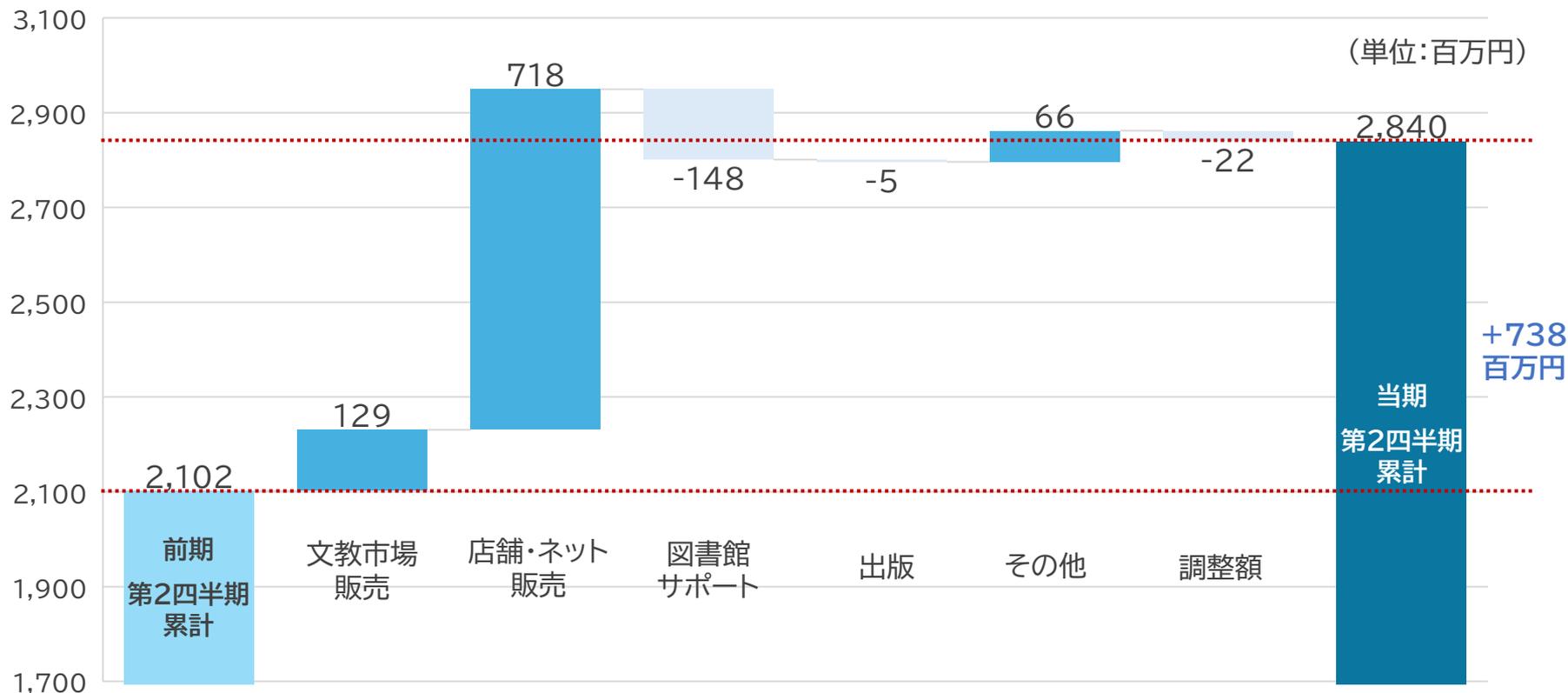
第2四半期 (累計)	売上高	営業利益	営業 利益率	経常利益	親会社株主に帰 属する中間(当期) 純利益
前年同期実績	85,034	2,102	2.4%	2,064	1,233
<b>当第2四半期 累計実績</b>	<b>92,517</b>	<b>2,840</b>	<b>3.1%</b>	<b>2,805</b>	<b>2,044</b>
対前年同期 増減	+7,483	+738	+0.7p	+740	+810
対前年同期 比率	108.8%	135.1%	—	135.9%	165.7%



# I -2. 当第2四半期(中間期)サマリー 累計業績 連結営業利益の増減

- 営業利益においても、店舗・ネット販売事業の大幅な増益がグループ収益をけん引し、対前期比**738百万円**の増加となりました。
- 文教市場販売、およびその他事業(総合保育サービス、書店・小売店向け設計デザイン・内装事業ほか)も増益を確保、図書館サポート事業は、人件費等の増加により減益となりました。

## ◆営業利益 対前年増減





## I -3. 当第2四半期(中間期)サマリー 業績見通し 2026年1月期

- 第2四半期までの増収増益に対して、第3四半期以降、複数の事業セグメントにおいて人件費の上昇が見込まれることや、システム開発・出店施策など、中期経営計画の施策を推進するための投資や支出を計画していることから、期初業績予想の変更はありません。

## ◆業績予想

(単位:百万円)

2026年 1月期通期	売上高	営業利益	経常利益	親会社に帰属する 当期純利益
期初業績予想	175,000	3,600	3,500	2,300
業績予想 (本日時点)	上記の期初業績予想から変更なし			
(参考) 前期通期実績	165,780	3,498	3,454	3,908

## ◆株主還元

## 【方針】

当社グループでは、総還元性向を株主還元の指標と位置づけており、経営基盤の一層の強化に努めながら、中期経営計画において示すとおり、2029年1月期までに配当性向30%の実現を目標とし、安定的かつ継続的な配当の実施に取り組んでおります。

## 【利益配分】

2026年1月期期末配当につきましては、2025年3月14日に公表いたしましたとおり1株当たり4円の配当を実施する予定としております。



## I -4. 当第2四半期(中間期)サマリー セグメント別損益ハイライト

◆2025年2月1日～2025年7月31日

(単位:百万円)

連 結	売上高			営業利益		
	当期	前期	対前比	当期	前期	対前比
①文教市場販売事業	26,641	25,994	102.5%	1,953	1,824	107.1%
②店舗・ネット販売事業	38,850	32,771	118.5%	1,034	315	327.6%
③図書館サポート事業	19,508	18,655	104.6%	1,382	1,530	90.3%
④出版事業	1,850	1,945	95.1%	-70	-65	—
⑤その他事業	5,666	5,665	100.0%	322	255	126.1%
消去又は全社				-1,781	-1,758	---
合 計	92,517	85,034	108.8%	2,840	2,102	135.1%



## I -5. 主要事業概況 文教市場販売事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	26,641	25,994	102.5%
営業利益	1,953	1,824	107.1%
営業利益率	7.3%	7.0%	+0.3p

- 学術研究や教育向け、洋書や電子書籍を含む各種出版事業、情報資料の提供
- 研究者支援ソリューションの提供
- 図書館用書籍の販売、書籍データベース(TRC MARC)の作成、販売
- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工、大学経営コンサルティングなど各種ソリューションの提供
- 大学内売店の運営、教科書販売

- 書籍関連では、公共図書館向けの書籍販売、装備・MARC事業などの売上が堅調さを見せる一方、教科書をはじめとする、大学など高等教育機関向け書籍の販売は厳しく推移しました。
- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工は、大型案件の完工数が増加しました。
- 加えて、今期より主に自治体向けにデジタルアーカイブの検索・閲覧プラットフォームを提供するTRC-ADEAC(株)(株)図書館流通センター子会社)がグループ連結に加わりました。
- 結果、売上高は対前期比102.5%の**26,641百万円**。営業利益は同107.1%の**1,953百万円**となり、増収増益となりました。



## I -6. 主要事業概況 店舗・ネット販売事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	38,850	32,771	118.5%
営業利益	1,034	315	327.6%
営業利益率	2.7%	1.0%	+1.7p

- 全国に「丸善(MARUZEN)」「ジュンク堂書店」ほかのブランドによる店舗網を展開し、和書、洋書、文具・雑貨等を販売。グループ全体の店舗数は117店舗。
- ホビー系リユース商品の買取・販売「駿河屋」のFC店舗を運営

- 2025大阪・関西万博の会場内オフィシャルストアや、各店舗内のオフィシャルストアで公式ライセンス商品等の売上が好調に推移しました。
- 書籍販売はやや減少したものの、ホビー系リユース事業(駿河屋FC店舗:新規2店舗、合計8店舗)や、文具・雑貨販売が伸長したことで、万博会場内オフィシャルストア以外の店舗販売も増収を確保しました。
- 4月より「丸善ジュンク堂書店ネットストア」にてネット販売を開始しました。書籍をはじめ文具・雑貨、オリジナルグッズなど品ぞろえを拡げることにより、店舗との連動性を高め、顧客の利便性向上を図っております。
- 結果、売上高は、対前期比118.5%の**38,850百万円**、営業利益は対前期比327.6%の**1,034百万円**の大幅な増収増益となりました。



## I -7. 主要事業概況 図書館サポート事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	19,508	18,655	104.6%
営業利益	1,382	1,530	90.3%
営業利益率	7.1%	8.2%	-1.1p

- 公共図書館、大学図書館の業務(カウンター業務、目録作成、蔵書点検等)の請負
- 指定管理者制度による図書館の運営業務
- PFIによる図書館運営業務および人材派遣

- 公共図書館、大学図書館、学校図書館とも受託館数は堅調に増加し、図書館の受託数は、期初1,840館より、9館増加(公共図書館633館、大学図書館237館、学校図書館他979館 7月末現在)しました(公共図書館、大学図書館とも、業務委託における当社シェアはトップクラス)。
- 新規受注など契約館数が増加し、増収となりましたが、既存受託館を中心に人件費や、その他の販売管理費の増加が影響し、減益となりました。
- 結果、売上高は、対前期比104.6%の**19,508百万円**、営業利益は、同90.3%の**1,382百万円**となりました。



## I -8. 主要事業概況 出版事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	1,850	1,945	95.1%
営業利益	-70	-65	—
営業利益率	—	—	—

- 丸善出版(株)の出版事業  
『理科年表』等の理工系分野中心の専門書、事典、便覧等の刊行、およびDVDの発売
- (株)図書館流通センター子会社(株)岩崎書店  
絵本・童話などの児童書、図書館向けの書籍の刊行

- 理工専門書(丸善出版(株))および児童書(株)岩崎書店)は、新刊118点(前期100点)を刊行しました。
- 主力である教科書販売、児童書・児童書関連分野商材の売上不振がつづく中、人文図書の刊行など出版ジャンルの拡大、原価及び販売管理費の削減など営業損失の圧縮に注力しました。
- 結果、売上高は、対前期比95.1%の**1,850百万円**。営業利益においては、**-70百万円**の赤字となりました。
- 一層の原価、販売管理費削減に取り組むとともに、動画コンテンツのサブスクリプション販売や、過去の売れ筋書籍の復刻、とくに重版した「47都道府県ご当地文化百科」(第27回学校図書館出版賞特別賞受賞)などの拡販に注力し、営業利益確保を図ります。



## I-9. 主要事業概況 その他事業

(単位:百万円)

第2四半期 (累計)	当期	前期	対前期
売上高	5,666	5,665	100.0%
営業利益	322	255	126.1%
営業利益率	5.7%	4.5%	+1.2p

- 書店、その他小売店舗向けに、企画・設計デザイン、建設工事、内装工事、店舗什器、看板、ディスプレイ等のトータルプランニング
- PC、スマートフォンの修理、システムサポートおよび各種周辺サービスの提供
- 総合保育サービス
- 会計・税務に関する電子専門書籍のサブスクリプションサービス

- 総合保育サービス事業(株明日香)は、保育・子育て市場の成長を背景に継続的に事業が拡大し、増収となりました。
- Apple製品・PC修理等(グローバルソリューションサービス株)事業においては、不採算事業からの撤退により、減収となりましたが、営業利益は増益を確保しました。
- 書店・小売店舗向け設計・デザイン・内装事業(丸善雄松堂株)の事業部門)については、小売業等の出店や改装案件が復調傾向にあり、増収増益となりました。
- 結果、売上高は前年並の**5,666百万円**、営業利益は対前期比126.1%の**322百万円**となりました。
- 2023年秋に開始しました会計・税務に関する電子専門書籍の読み放題サービス「丸善リサーチ」は、法人会員の増加により、会員数が6月時点で7,000名を超えております。引き続き、黒字化に向けて、機能、サービスの充実に取り組んでまいります。

## Ⅱ 中期経営計画の進捗状況



## II-1. 中期経営計画の概要

➤ 2024年3月に策定した中期経営計画で掲げた3つの基本方針に沿った行動方針に基づき、成長推進の具体的なしくみを構築・運営することで成長戦略を実行しております

目指す姿	知の生成と流通に持続的に貢献するための成長力と資本効率の向上				
基本方針	①グループ資産の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 当社グループとして取り組むべき協業テーマを定め、グループ横断型のプロジェクトチームにより推進する</li> <li>➤ 長年に亘り培ってきたグループの“資産(商品・サービスやノウハウ、ブランド、人材等)”を有効に活用する</li> <li>➤ これらを経営基盤として定常化するための仕組みをつくる</li> </ul>			
	②成長領域の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 新しい価値を生む可能性のあるビジネスプランやアイデアに対し、挑戦しやすく、事業が確実に成長ができるよう、事業育成・支援環境の整備をおこなう</li> <li>➤ 市場の変化や顧客の行動変容に対し、最新技術やデータを活用した事業開発を推進する</li> <li>➤ 既存事業の機能補完や提供価値の向上をスピード感をもって推進するため、事業提携やM&amp;Aを積極的に実施する</li> </ul>			
	③収益構造の転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ セグメント別に事業ポートフォリオを定め、既存事業の収益性向上、および成長領域への積極的な投資をおこない、事業構造の転換を図る</li> <li>➤ さらに、各事業目標達成のため、進捗管理の仕組みを整備する</li> </ul>			
数値目標 (2029年1月期)	売上高 2000億円	営業利益 85億円	営業利益率 4.2%	ROE 7.5%以上	—
セグメント別の数値は売上目標※	文教市場販売 500億円	店舗・ネット販売 700億円	図書館サポート 480億円	出版 50億円	その他 290億円

※セグメント別売上には、セグメント間取引調整額(-20億円)が含まれていません。

## Ⅱ-2. 中期経営計画における具体的事業への取り組み(1)

これまでのノウハウを活用した、新しい地域貢献への評価が高まる

### ②成長領域の創出

本や雑貨、地域商材を販売する図書館内ショップ「TOSHOP(トショップ)」の実証実験をスタート

- (株)図書館流通センターは、公共図書館内で本や文具雑貨、地域商材などを販売する図書館内ショップの実証実験を開始しました
- 「TOSHOP」は、公共図書館に“本を借りる場所”にとどまらない、地域の人たちが集い、文化を育むコミュニティセンターとして、新しい図書館の役割を創出する取り組みです



和歌山県・海南市「海南nobinos」内の「TOSHOP」

### ①グループ資産活用

### ②成長領域の創出

南城市、津島市などで、新しいコンセプトの地域活動支援施設の計画に参画

- 丸善雄松堂(株)は沖縄県南城市、愛知県津島市でこれまでに培った、書籍空間づくりや施設運営ノウハウを評価され、新しいコンセプトの地域交流施設の設置計画に参加
- 共同企業体メンバーとともに、2026年(津島市)、2027年(南城市)の開業を目指し、今年度は地域の知や暮らしを支援する企画開発を進めます



南城佐敷・玉城IC周辺地区整備事業・まちづくり交流拠点 イメージ図(南城市HPより)



## II-2. 中期経営計画における具体的事業への取り組み(2)

### 店舗・ネット販売の事業モデル・収益構造の变革が進む

#### ②成長領域の創出

#### ③収益構造の転換

(株)丸善ジュンク堂書店では、事業モデル・収益構造変革に向けて海外店舗展開、ネットやIPの活用による事業領域拡大など多面的な施策を推進しています

- 「丸善ジュンク堂書店ネットストア」で、これまでの置き置き、取り寄せサービスに加え、書籍・文具・雑貨の通販を開始。お客様にとって、さらにお買い求めになりやすいサービスとして、また、当社書店の豊富な在庫へのアクセスを全国から可能にする購買チャネルとしてこれからもサービス・機能の充実に取り組みます
- 台湾2店舗目となる「淳久堂書店ららぽーと台北南港店」を開店。これまでの日本語書籍だけでなく、キャラクター雑貨を中心に日本のサブカルアイテムを提供し好評を博しており、中期経営計画でも今後海外展開に注力していく予定です
- ホビーのリユースショップ「駿河屋」のフランチャイズ店を2店舗新規開店(合計8店舗)。コミックやサブカルとの親和性も高く、今後もさらに出店を加速させていき、事業ポートフォリオの变革を進めます
- 「2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア 東ゲート店 MARUZEN JUNKUDO」をはじめ万博オフィシャルショップを運営。収益貢献だけでなく、オリジナル商品製作や物流、新しい店舗オペレーションなどのノウハウ獲得にもつながっています



ネットストア通販サービス開始



淳久堂書店ららぽーと台北南港店



駿河屋 秋田オーパ店



## II-2. 中期経営計画における具体的事業への取り組み(3)

<グループ事業資産> × <他社との協業> で 新たな事業モデルを創出

### ①グループ資産活用

出版ファンドに参画し 絶版本を復刊  
書店員の目利き力や販売データを活かした投資

- 英治出版(株)の組成した出版ファンドに出資
- 書店員や図書館員の知見、さらには過去の販売データをもとに収益性を検討
- 書籍の販売収益だけでなく、事業資産(人材力やデータ)を収益に結び付ける投資として実施しました



出版ファンドで復刊の2タイトル

### ①グループ資産活用

### ②成長領域の創出

### ③収益構造の転換

IT/PCの専門書サブスクの合弁会社設立  
丸善リサーチのノウハウをベースに領域拡大

- 丸善リサーチは2025年6月に有料会員数7,000人を突破
- この丸善リサーチのノウハウ・事業モデルを活用し、(株)インプレスと共同出資による合弁会社テックリブ(株)を設立
- IT/PCの専門書でサブスクサービスを2025年秋にサービスイン予定です



丸善リサーチは単体のサービスから事業モデルへ



## Ⅱ-3. 中期経営計画施策 当期の取り組み施策一覧(1)

取り組み		中計基本方針
2月以降	<ul style="list-style-type: none"> <li>「2025大阪・関西万博 オフィシャルストア」の(店舗内)展開 (株丸善ジュンク堂書店)【P.15参照】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①グループ資産活用</li> <li>②成長領域の創出</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みどころキューブ®」を活用した地域の課題解決に向けた産学連携プロジェクトー四国水族館における丸善雄松堂(株)、香川大学、大日本印刷(株)の連携による取り組みー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①グループ資産活用</li> <li>②成長領域の創出</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾(台北市)の三井ショッピングパークららぽーと台北南港に台湾2店舗目となる淳久堂書店ららぽーと台北南港店をオープン(台湾2店舗目) (株丸善ジュンク堂書店)【P.15参照】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②成長領域の創出</li> <li>③収益構造の転換</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>大日本印刷(株)と日東電工(株) オープンイノベーションで環境問題の解決につながる共創を開始。東京都北区のジェイトエルでアップサイクルした製品を展示 (株図書館流通センター)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①グループ資産活用</li> </ul>
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「丸善ジュンク堂書店ネットストア」にてネット通販サービスを開始【P.15参照】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②成長領域の創出</li> <li>③収益構造の転換</li> </ul>



## II-3. 中期経営計画施策 当期の取り組み施策一覧(2)

取り組み		中計基本方針
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア」オープン (株丸善ジュンク堂書店) 【P.15参照】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②成長領域の創出</li> <li>③収益構造の転換</li> </ul>
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>(株)図書館流通センターと日本出版販売(株)が共同で、図書館内ショップを展開 公共図書館で本や文具雑貨、地域商材を販売する実証実験開始 (株)図書館流通センター) 【P.14参照】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②成長領域の創出</li> </ul>
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>英治出版(株)×丸善CHIホールディングス(株)、ブックファンドで名著復刊！『仕事は楽しいかね？』シリーズ2冊の新版を発売 (丸善CHIホールディングス(株)) 【P.16参照】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①グループ資産活用</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが読書にハマるオンライン習い事「ヨンデミー」との連携について (株丸善ジュンク堂書店)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>②成長領域の創出</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸善雄松堂(株)ほかグループ事業会社で 法務省主唱 第75回“社会を明るくする運動”に広報協力 一まなびの力で「社会を明るく」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①グループ資産活用</li> </ul>



## II-3. 中期経営計画施策 当期の取り組み施策一覧(3)

取り組み		中計基本方針
6月	<ul style="list-style-type: none"><li>・ (株)インプレスと丸善CHIホールディングス(株)が技術書籍読み放題サービスの企画運営を目的とした合併会社テックリブ(株)を設立 (丸善CHIホールディングス(株)) 【P.16 参照】</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>①グループ資産活用</li><li>②成長領域の創出</li><li>③収益構造の転換</li></ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"><li>・ (株)みんなの銀行とのパートナー支店「丸善ジュンク堂支店」を開設 (株)丸善ジュンク堂書店</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>②成長領域の創出</li><li>③収益構造の転換</li></ul>

# Appendix



# 当社グループ事業会社とセグメントマッピング

MARUZEN CHI Holdings

グレー表示は、連結対象主要孫会社

事業会社 \ セグメント	文教市場 販売事業	図書館 サポート事業	店舗・ネット 販売事業	出版事業	その他事業
丸善雄松堂	丸善雄松堂(株)				丸善雄松堂(株) (株)第一鋼鉄工業所 (株)編集工学研究所
図書館流通センター	(株)図書館流通センター TRC-ADEAC(株) (株)図書館総合研究所			(株)岩崎書店	(株)明日香 グローバルソリューションサービス(株) (株)図書館流通
丸善ジュンク堂書店			(株)丸善ジュンク堂書店 (株)淳久堂書店 台湾淳久堂股份有限公司		
丸善出版				丸善出版(株) 丸善プラネット(株)	
丸善リサーチサービス					(株)丸善リサーチサービス



MARUZEN CHI  
Holdings

本資料には、当社および当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。

これらの記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があります。